

平成30年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	迎賓館の魅力向上に向けた施設整備に必要な経費			担当部局庁	内閣府	作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	平成31年度	担当課室	大臣官房企画調整課	企画調整課長 岡本直樹	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—			関係する計画、通知等	未来投資戦略2018 観光ビジョン実現プログラム2018		
主要政策・施策	観光立国			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	内閣府迎賓館赤坂離宮(以下「迎賓館」という。)では、平成28年4月の一般公開以降、国内外から多くの参観者が来館しているが、参観者等が利用する休憩施設や利便施設は、迎賓館及び周辺エリアでは不足している。については、迎賓館前の新宿区若葉東公園において、休憩機能・広報機能・観光案内機能等を備えた新たな施設を整備し、今後、より一層の観光振興の観点からも参観者の利便性・満足度の向上を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	迎賓館参観者の利便性・満足度の向上を図るとともに、周辺エリアの観光上の発信等を行う施設を整備する。具体的な機能として、休憩機能・広報機能・観光案内等を予定している。平成29年度は敷地調査を実施したほか、設計、埋蔵文化財調査に着手、今年度は民間事業者の募集を行うとともに、平成31年度にかけて建設工事を進め、平成32年5月頃に完成・運営開始を予定している。						
実施方法	その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	196	499	1,490
		補正予算	-	-	0	0	
		前年度から繰越し	-	-	0	70	
		翌年度へ繰越し	-	-	▲70	-	
		予備費等	-	-	0	0	
		計	0	0	126	569	1,490
	執行額		0	0	124		
	執行率(%)		-	-	98%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	63%		
平成30-31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由			
	施設施工庁費	18	84	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,489			
	施設施工旅費	0	0				
	施設整備費	480	1,405				
		-	-				
		-	-				
	その他	1	1				
計	499	1,490					

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
					- 年度	- 年度	- 年度	- 年度	- 年度	
			成果実績		—	-	-	-	-	-
			目標値		—	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)										
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と27～29年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			新施設の運用開始に向けて、平成29年度は敷地調査、設計、埋蔵文化財調査を実施した。 なお、29年度からの事業により、27、28年度の達成状況・実績はなし。						
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標		代替指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
					- 年度	- 年度	- 年度	- 年度	- 年度	
	来年度施設完成、再来年度前半の開業を実現させるため、今年度予定している事業者選定や本体工事について、滞りなくスケジュール通りに進むよう実施する。		事業の進捗状況		実績	—	-	-	-	-
					目標値	—	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
					活動実績	件	-	-	0	-
					当初見込み	件	-	-	1	1
		施設整備スケジュールに沿って、平成29年度は実施設計を完了させ、平成30年度は事業者の選定を行う。						活動見込	活動見込	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	27年度	28年度	29年度	30年度		
					単位当たりコスト	百万円	-	0	196	499
	予算額/実施整備件数				計算式	百万円/件	—	—	196/1	499/1
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	—								
		施策	—							
	測定指標		定量的指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標
				実績値			—	—	—	—
				目標値	—	—	—	—	—	
		定性的指標		目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
					—	—				
					—	—				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	—									
改革項目	分野:	—		単位	計画開始時	29年度	30年度	中間目標	目標最終年度	
					年度	年度	年度	年度		
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			成果実績	—	—	—	—	
					目標値	—	—	—	—	
					達成度	%	—	—	—	—
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			計画開始時	29年度	30年度	中間目標	目標最終年度	
					年度	年度	年度	年度		
					成果実績	—	—	—	—	
				目標値	—	—	—	—		
				達成度	%	—	—	—	—	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
—										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明																	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	施設の整備にあたり、迎賓館周辺に不足している機能を実際の参観者を対象にアンケートを実施した上、検討しており、国民や社会のニーズを的確に反映していると言える。																	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	迎賓館の魅力を外に発信する機能を備えたものを想定しており、迎賓館を所管する内閣府が主体となって整備することが適切である。																	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	観光は『地方創生』の切り札、GDP600兆円達成に向けた成長戦略の柱であり、観光の呼び水とすることを目的とした本事業は、必要かつ適切で優先度は高い事業と言える。																	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業の実施にあたっては、一般競争入札や簡易公募型プロポーザル方式等を実施し、競争性を確保していると考えられる。																	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	なお、埋蔵文化財調査の特命随契については、文化財保護法等により、原則、都道府県等の教育委員会が行うこととされているところ、東京都教育委員会教育長から、発掘調査は当該者が行うと通知があったことによる。																	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有																		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-																		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建設工事積算基準等に基づき各契約毎に費用算出していることから妥当と言える。																	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-																		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に即し、真に必要なものに限定されている。																	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-																			
事業の有効性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	埋蔵文化財調査については、試掘段階で想定より広範囲で埋蔵物が発見され、試掘調査に不測の日数を要することになったため、本掘調査の範囲を拡大するとともに整理期間も延長となり、年度内の事業完了が困難となったため。また、設計業務については、建設予定地に隣接する若葉東公園東側のデザインに関し、住民意見を反映させるため、新宿区との協議を重ねた結果、増工と工期延長が必要となり、年度内の事業完了が困難となったため。																	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	施設整備にあたっては、工法等の比較検討を行い、適切な手法及びコストにより実施している。																	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	敷地東側にある公園の設計について行政機関との調整に不測の期間を要したため、一部の事業を繰り越して執行するが、施設整備スケジュール全体に支障はなく、成果実績は成果目標に見合ったものと考えられる。																	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業実施にあたっては、工法等の比較検討を行い、適切な手段を選定されている。																	
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	敷地東側にある公園の設計について行政機関との調整に不測の期間を要したため、一部の事業を繰り越して執行するが、施設整備スケジュール全体に支障はなく、活動実績は見込みに見合ったものと考えられる。																	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	設計業務の成果物である図面や模型は、施設の詳細な検討に十分活用されている。																	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	所管府省名	事業番号	事業名																
所管府省名	事業番号	事業名																		
点検・改善結果	点検結果		<ul style="list-style-type: none"> 支出先及び使途については、支出委任先である国土交通省が契約し、その内容については逐次報告を受け、執行状況とともに確認している。 競争性の確保については、最低価格や、プロポーザル方式を取り入れている。 当初の計画に比べ、不測の事態により、工期延長によるスケジュール変更や、予算の繰越が発生したが、事業全体としては、平成32年度前半の施設の運営に向けて問題なく進んでいるといえる。 																	
	改善の方向性		<ul style="list-style-type: none"> 今後、施設の内部等の整備にあたっては、参観者の利便性・満足度の向上を図るという事業の目的を勘案しつつ、支出委任先である国土交通省とも連携し、コストの抑制に努めることとする。 																	

外部有識者の所見

本事業は、29年度開始で「終了予定なし」とあるが、一方で、「事業概要」欄には、「平成32年度前半開業予定」となっている。総事業費と、年度毎の計画額を明らかにすべきである。また、迎賓館の一般公開事業では、観覧料を徴収しているが、ここでの設備整備に係るコストは、観覧料に関係させていくのか否か、明らかにすべきではないと思われる。

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

外部有識者の所見を踏まえ、施設整備に必要な総事業費と年度毎の計画額について国民にわかりやすく説明すべき。また、迎賓館の観覧料との関係については、どのような整理となるのか明らかにすべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

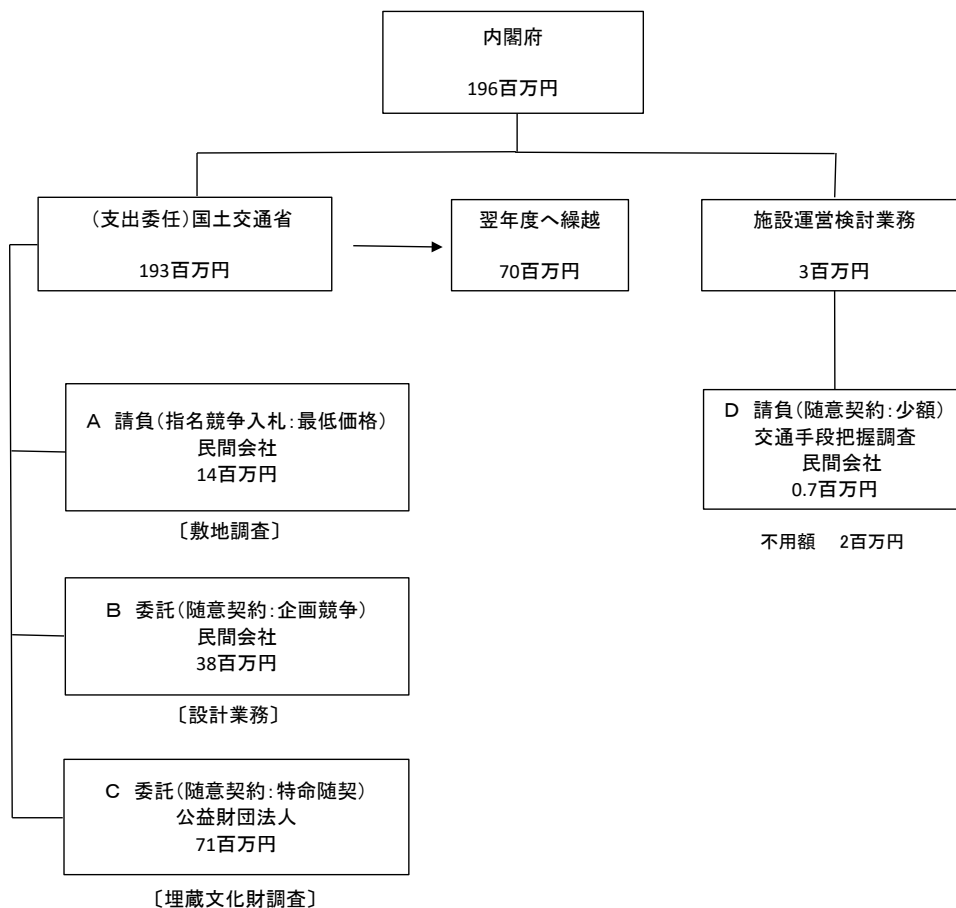
・所見を踏まえ、終了年度を平成31年度と修正した(また事業概要の「開業予定」も「完成・運営開始」に修正)。なお、総事業費及び年度ごとの計画額については、「予算の状況」欄を参照されたい。
 ・本施設は、参観者の利便性・満足度の向上を図ることを主目的としつつ、新宿区立若葉東公園内に公園施設として整備するため、周辺住民の利便性・満足度向上にも資することから、施設整備に係るコストを迎賓館の参観料に反映させることは想定していない。なお、施設整備に当たっては支出委任先である国土交通省とも連携し、コストの抑制に努めて参りたい。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	—	平成25年度	—
平成26年度	—	平成27年度	—	平成28年度	—		
平成29年度	内閣府 (新29 - 0013)						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

※一般事務費を除く。

※単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A. (株)東京ソイルリサーチ			B. (株)柳澤孝彦タック建築研究所		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	施設施工庁費	敷地調査	14	施設施工庁費	設計業務	38
	計		14	計		38
		C.公益社団法人 東京都スポーツ文化事業団			D.	
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
施設施工庁費	埋蔵文化財調査業務	71				
計		71	計		0	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)東京ソイルリサーチ	3013201006646	敷地調査業務	14	指名競争契約 (最低価格)	10	65%	—

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)柳澤孝彦タック建築研究所	5010001059451	設計業務	38	随意契約 (企画競争)	1	99%	—

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人東京 都スポーツ文化事業 団	5011005003759	埋蔵文化財調査業務	71	随意契約 (その他)	—	—	—

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)エスピー研	4010001012139	交通手段把握調査	0.7	随意契約 (少額)	—	—	—